

# 新規就農者チャレンジ事業の活用事例

新規就農者チャレンジ事業は、経営発展支援事業と比較して、

- 国費上限を個人1,500万円、法人3,000万円に引き上げ（補助率3/10）
- 農業経営を開始して5年以内の者を対象とする
- 65歳未満の認定新規就農者を対象とする（すなわち50歳以上も対象）
- 過去に経営発展支援事業を活用している方も要件を満たせば活用可能とする（更なる投資による規模拡大）

など、支援内容を拡充しています。

経営発展支援事業では取り組めなかったことも支援可能となっており、その活用例についてご紹介します。

## 大規模投資の活用例

### A法人

- ①経営開始年 : 令和8年
- ②年齢 : 42歳
- ③営農区分 : 施設野菜作
- ④導入機械・施設 : 5連棟ハウス、付帯設備
- ⑤総事業費 : 8,100万円（うち国費2,430万円）



### B氏

- ①経営開始年 : 令和5年
- ②年齢 : 29歳
- ③営農区分 : 施設野菜作
- ④導入機械・施設 : 5連棟ハウス、2連棟育苗ハウス、付帯設備
- ⑤総事業費 : 4,100万円（うち国費1,230万円）



## 50歳以上で経営を開始した方の活用例

### C氏

- ①経営開始年 : 令和8年
- ②年齢 : 52歳
- ③営農区分 : 果樹作
- ④導入機械・施設 : スピードスプレーヤー、運搬車、動力噴霧器、草刈機
- ⑤総事業費 : 1,100万円（うち国費330万円）



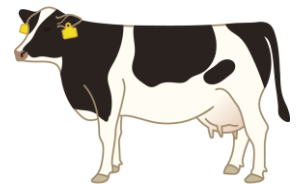
### D氏

- ①経営開始年 : 令和8年
- ②年齢 : 50歳
- ③営農区分 : 水田作
- ④導入機械・施設 : ロータリー、掘取機、穀物乾燥機、糶摺機、自動選別計量器
- ⑤総事業費 : 600万円（うち国費180万円）

## 過去に経営発展支援事業を活用した方

### E氏

- ①経営開始年 : 令和5年
- ②年齢 : 26歳
- ③営農区分 : 酪農
- ④導入機械・施設 : トラクター、フロントローダー、牛舎用温風暖房機
- ⑤総事業費 : 2,500万円（うち国費750万円）



### F氏

- ①経営開始年 : 令和4年
- ②年齢 : 39歳
- ③営農区分 : 水田作
- ④導入機械・施設 : コンバイン、田植機、乾燥機
- ⑤総事業費 : 2,800万円（うち国費840万円）

